

本部広報2021-039

2022年2月17日

日常の運転で起こりうる“危険な場面”を体感する動画 新テーマ「ラウンドアバウト(環状交差点)」公開

JAF（一般社団法人日本自動車連盟 会長 藤井一裕）は、事故防止効果のある「実写版」危険予知・事故回避トレーニングに新規テーマとして「ラウンドアバウト（環状交差点）編」を2月17日（木）からウェブサイトとYouTube公式アカウントに公開しました。

■日本では珍しい“ラウンドアバウト(環状交差点)”その注意点とは

ラウンドアバウト（環状交差点）とは、ヨーロッパを発祥とする交差点形式のひとつで、日本でも2014年9月に施行された道路交通法改正に基づき、環状交差点の名称で法律的に整備されました。原則、進入時に一時停止の必要がなく、右からくる車に注意して進入します。環状部分をすでに通行している車両がある場合は、その車両に優先権があるため通行を妨害してはいけません。合流と分岐を繰り返すことで、より安全に進行方向を変えられます。



ラウンドアバウトの標識（イメージ）

日本ではあまり見られない交差点形式ですが、まったくないわけではありません。実際にこの“ラウンドアバウト（環状交差点）”を走行する際に何が危険なのかをしっかりと把握できるよう、あたらしくこの「ラウンドアバウト（環状交差点）編」を公開いたしました。

・ラウンドアバウト編：<https://youtu.be/McRoq1jAVP8>

【概要】環状交差点（ラウンドアバウト）を走行中、一つ先の道路を左折するため、早めに左ウインカーを出しましたが、左前方の道路にいた青い車両からはあなたが左折してくると思込み、ラウンドアバウト内に進入し危うく事故になるシーンを体験します。



ラウンドアバウト編

【注意点】環状交差点、いわゆるラウンドアバウトを走行する際は、いつもと違った道路形状のため注意が必要です。通常、交差点を左折するときは30m手前から合図を出しますが、ラウンドアバウト内から左折するときは、そのひとつ手前の道路を通過するときに合図を出すことになっています。他の通行車（者）から勘違いされないようにウインカーをつけるタイミングには注意しつつ、飛び出してくるかもしれないと予測しておきましょう。また、歩行者や自転車など他の道路利用者の動きに配慮しましょう。また、ラウンドアバウトに進入する場合も、走行車両に注意し、しっかりと安全確認をしてから合流するようにしましょう。

さらに、夜間編も新たに公開しています。夜間に街灯の少ない道路を走行する際の注意として、歩行者や自転車が見えにくくなる危険シーンを体験します。

夜間編：<https://youtu.be/U2rLVMqV8W8>



夜間編

今回公開した内容のほかにも“危険な場面”を想定したさまざまな動画を「実写版」危険予知・事故回避トレーニングとして公開しています。また、これらの動画をクイズ化した「交通安全3分トレーニング※」も公開。継続的なトレーニングや企業の講習などでお役立ていただけます。

JAFでは、今後も交通安全に役立つコンテンツの充実を図っていきます。

▼JAF ウェブサイト 「実写版」危険予知・事故回避トレーニング：

<https://jaf.or.jp/common/safety-drive/online-training/risk-prediction>

▼YouTube 公式アカウント

<https://www.youtube.com/playlist?list=PLJfKB1JtrvvsGBWa6epvIntxWVs4-zGGP>



Youtube
公式アカウント

▼交通安全3分トレーニング

<https://jaf.or.jp/common/safety-drive/online-training/traffic-safety-movie/3-minutes-traning>

※「交通安全3分トレーニング」とは、毎日異なる危険予知クイズが出題され、動画を見て解答すると、危険度ランクや注意すべきポイントの解説が見られます。「受講完了証」も発行（画像保存）できますので、個人の方だけでなく、企業や職業ドライバーの社内安全教育にも活用可能です。

一般社団法人 日本自動車連盟 広報部

Tel : 03(3578)4920 Fax : 03(3578)4912 Mail : koho@jaf.or.jp URL : <https://jaf.or.jp/>
〒105-0012 東京都港区芝大門1-1-30 日本自動車会館